

平成 28 年度第 1 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 28 年 6 月 18 日（土）14：00～16：20

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 24 名中 17 名出席、4 名代理出席、ガイドヘルパー 1 名
千葉市保健福祉局地域福祉課 3 名、事務局 9 名（緑保健福祉センター長、
高齢障害支援課 3 人、社協緑区事務所 5 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 緑保健福祉センター長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員紹介
- 5 議題
 - (1) 委員長・副委員長の選任について
 - (2) 広報部会委員の選任について
 - (3) 緑区支え合いのまち推進計画について
- 6 推進協ミニ講座 第 1 回消費生活センターの役割と最近の主な悪質商法について
- 7 閉会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）委員長・副委員長の選任について

事務局より、委員長、副委員長が選出されるまでの間、緑保健福祉センター所長が仮議長に就任することを提案し、承認された。

委員長には、出席委員からの推薦発言により、岡本委員が選任された。

また、副委員長については、委員長から田宮委員、松戸委員の指名があり、全員一致で承認された。

主な発言内容は以下のとおり。

（仮議長）本会の設置要綱第 5 条の規定により、委員長 1 名、副委員長 2 名を委員の互選により選出することとなっているが、初めに委員長の選任についてご意見等あればお願ひしたい。

（中村輝委員）今までどおり委員長には椎名地区の岡本委員さんにお願いしたい。

（仮議長）いかがでしょうか

（松戸委員）昨年度、小山委員から推薦いただき私と岡本委員で選挙になったが、昨年度と今年度の 2 年間については岡本委員が委員長という話もあったので岡本委員に委員長をお願いしたい。

(岡本委員長) 推薦いただきありがとうございます。それでは委員長を補佐する副委員長2名を決めたい。昨年度同様、松戸委員と田宮委員に副委員長をお願いしたいがいかがか。

(全 員) 異議なし

議題（2）広報部会委員の選任について

主な発言内容は以下のとおり。

(岡本委員長) 年3回発行している広報紙「みどりのきずな」の編集委員を決めたい。
昨年度まで中村和彦委員に広報委員長をお願いし、互選で各地区から委員をお願いしてもいいか。

(全 員) 異議なし

議題（3）緑区支え合いのまち推進計画について

緑区支え合いのまち推進計画について各地区から進捗状況について説明をした。

主な発言内容は以下のとおり。

(事務局) 本日配布した資料9・10をご覧いただきたい。これは千葉市地域福祉課から提示された書式に則って前年度の区計画重点項目について進捗状況をまとめたものである。昨年度末の本協議会では、資料5~8を用いて進捗状況をまとめている。資料9・10と資料5~8の書式は違うが、内容については転記したものであるため同じである。ご確認をしていただきたい。資料9の評価については達成状況という資料5~8と違う表記になっているが評価内容に相違ないよう記載している。また6月10日の緑区地区部会連絡会でも資料9・10を提示し地区部会長に確認してもらっている。この内容でよろしければ資料9・10を地域福祉課に提出したい。

(岡本委員長) 達成状況についてはこの後の各地区的報告を聞きながら再確認してもらいたい。今年度は3年計画の中間年である。平成27年度の重点項目の進捗については各地区部会からこの後発表してもらいたい。

(鳥山委員) 資料8をご覧いただきたい。地域の見守り活動を重点にしている。鎌取町内会と辻田町内会で実施しているが、1年ごとに1地区増やしていく。今年は見守り活動推進委員会を設置した。その委員で計画をたてて進めている。

(茂田委員) 昨年度からスタートした重点項目は見守り活動である。見守り活動を46町内会に広く知らしめていくことと、サロン活動の充実を図ることにしている。現在は2つの自治会で推進はされている。今年度はさらに理解を深めることを考えている。各町内自治会で働きかけ組織づくりを進めていきたい。今年度はさらに支え合い活動のプラン作成をしていきたい。

(本田委員) 椎名地区は資料6をご覧いただきたい。見守り活動を評価Cにした。農

村地域では向こう三軒両隣の絆が強くまだ仕組み作りまで進まなかつた。しかし小学生とボランティアや見守り活動についての意見交換を進めるなどの活動は出来た。またもう 1 つの重点項目として地域と学校の交流についてであるが、廣田委員の協力をもらい福祉教育を実施したほか、地域との交流を活発に行えた。今年度も同様の活動を進めていきたい。

- (中村委員) おゆみ野地区は高齢者の集う場を重点項目にしている。具体的にはふれあい散歩を拡充するようにしている。閉じこもりがちな方を対象に散歩を展開している。あんしんケアセンターにも協力してもらっている。昨年度は 4 回実施し、約 200 人の参加を得た。評価としてはほぼ達成したので A とした。新たな参加者を発掘するために自治会に協力を求めたい。また地域のミニコミ誌でも PR していくことを考えている。
- (岡本委員長) 誉田地区は見守り活動を 1 地区増やす。土気地区はサロン活動を充実させ、支え合い活動のプランを作成する。椎名地区は見守り活動実施地区を 1 地区増やし、子ども達に福祉教育を充実させる。おゆみ野地区はふれあい散歩を通じて地区のコミュニケーションを充実させるという提案だった。事務局としては今後どのような関わり合いを考えているか。
- (事務局) 一部進んでいない項目については一緒に考えて進めていきたい。各地区的活動については見せていただき我々も勉強していきたい。
- (岡本委員長) 第 4 期計画に向けての動きはどうか。平成 29 年度
- (事務局) 現在は平成 27 年度から 29 年度の 3 年間の第 3 期であるが、第 4 期は平成 30 年以降になるため第 4 期の検討についてはそろそろ時期にきている。皆さんがあなたが進めている先進活動事例は吸い上げながら 4 期に取り込んでいきたい。また不足しているものについては皆さんに伺いながら次期計画に活かしていきたい。
- (岡本委員長) 第 4 期については平成 28 年度、29 年度に考えていくことになる。会議自体も 1 回減ったわけだし、今後どう改善していくか事務局にもアイデアをいただきたい。単なる報告の場ではなく計画自体を考えていきたい。
- (事務局) 報告してもらったものを持ち帰って拡げるのもこの会議の特徴の 1 つなので、また時間をいただき進め方は検討したい。
- (中村委員) 第 3 期は、ふれあい散歩を進めているが、第 4 期は子ども達への施策を考えていきたいと思っている。
- (本田委員) 椎名地区は高齢化が進んでいる。次年度から 30 年度に向けて支え合い活動を立ち上げていきたいと考えている。高齢者が今までどおりの生活が送れるように考えていきたい。
- (鳥山委員) 閉じこもりがちな高齢者を外に連れ出す場をどんどん作っていきたい。
- (茂田委員) 支え合いプラン作りをして、サロンを拡充し、見守りが必要になる前の取り組みをしていきたい。
- (徳田委員) 老人クラブの活動として、健康、友愛、奉仕をモットーにしている。支え合いの士気を高めている。友愛活動員を増やし高齢者を見守ることを考えている。民生委員との連携が今後必要だと思っている。
- (岡本委員長) 老人クラブの広報誌、緑だよりを参照していただきたい。

- (鴨 委員) 精神家族会での活動を説明したい。母体はたけのこ工房である。6月の会議では43名の方を集めて講演会を実施した。テーマは「苦労の中にも花咲くことがある」という内容で浅野てるこ先生にご講演いただいた。絵も描かれている方で、生きるということについて非常に強いメッセージをいただいた。毎月15名程度の参加で例会を実施している。障害者については各地区的重点活動には出てこない。
- (岡本委員長) 小委員会でも障害者への取り組みを考えていきたい。
- (廣田委員) 前年度は誉田で福祉避難所について考えてみようという話もでた。熊本でも障害者であるがゆえに避難所に行けない人もいると聞く。集団生活に馴染めない人も出てきている。地域の方にも考えてもらいたい。千葉中央バスの路線がかなり減った。誉田と市原を結ぶバスが減った。外房線の北側の地域は公共交通機関の数が少なくなっている。そのようなことについてもこの場で話が出てくることを期待している。
- (岡本委員長) 委員の方には地区部会だけではないのでそれぞれの委員さんがその立場でどんどん発言していってもらいたい。あんしんケアセンターには計画にどのように関わっていくかの話をいただきたい。
- (鳥山委員) 介護保険の新しい総合事業が平成29年度から実施される。簡単に言うと、要支援者の通所事業や訪問介護とかが地域支援になるということ。地域での力を作っていきたいが難しいこともある。今後は地域での介護予防をしていってもらいたい。シニアリーダ一体操もその一環である。地域の高齢者が歩いていけるところで週1回程度運動できる場を増やしたい。そのためには自治会や老人会の協力をもらいながら進めたい。
- (岡本委員長) 色々な団体が連携しないと支え合いのまちづくりは進まない。本日参加している施設職員の方にも意見をいただきたい。ときわ園と小谷小学校の連携を進めていた担当教諭が中央区に異動し、福祉施設との交流を実施したいがどのように進めたらいいかと悩んでいると話をしていた。
- (石本委員) 小谷小学校との交流は、推進協にお膳立てをしてもらい達成できた。それまで独自の開拓はできていなかったが、その交流をヒントに土気中や鏡戸幼稚園、越智中、淑徳大などと交流を進めた。施設を地域の方や若者を結ぶ場所にしたいと思っている。自分が青少年育成委員会をしていていたので学校に顔が利くというのもあるが、恐れず学校に電話してお願いしたりしている。今後もこのような活動は続けていきたい。
- (安元委員) おゆみ野整形外科クリニックは今年で20年経ち、地域で知られてきていると思う。リハビリスタッフだけでなく、介護スタッフもいるので地域活動を進めていきたい
- (小林委員) セルプガーデンハウスは知的障害、精神障害の方もいるが、身体障害を持っている方が多い施設である。入所と通所がある。施設にいる中で感じるのが実習生、特に教員免許を取る方が介護等体験プログラムとして5日間実習するわけだが、障害者とどうやって接すればいいか訊かれる。私たちからすれば個人個人違うので障害という枠では捉えない。小さいころから障害をもつた方と交流していればそのようなことはないが、知らないので

障害者への偏見に繋がるものもある。障害施設も地域の福祉の拠点になると思うので今後協力していきたい。

(岡本委員長) 本日は初回なので各委員がどのようにこの計画に関わっていくか考える時間を作ったが、各団体がこの計画にどう関わっていくか協議できる議題が必要と思う。この会議は報告の場だけではないと思っている。

(田宮委員) 最初から携わっているが、3年前くらいから地区部会だけの報告になっている。色々な方が本協議会に委員として関わっているので会議の議題をより検討してほしい。

(岡本委員長) 重点目標の報告だけではなく、推進協の意味を考えてほしい。

(松戸副委員長) おゆみ野地区連協での取り組みを報告したい。シニアリーダ一体操をおゆみ野でも展開されている。私もみずきかつら会場に参加している。椅子に座った体操や脳トレーニングをしているので介護予防に役立っていると思う。ひきこもりの高齢者の問題があるが、顔見知りも増えていくと思う。小学校の空き教室について調べてみたが、8月に有吉小学校でシニアリーダ一体操を始めて、他の小学校にも広げたい。6月23日のみずきかつら自治会の会場には手品サークルも参加し賑やかになる。おゆみ野地区をシニアリーダ一体操のモデル地区にしたい。この会議は公開となっている。おゆみ野地区連絡協議会の会議も傍聴席を設置し傍聴できるので是非参加して欲しい。6月15日の市政だよりにまち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の概要が掲載されていた。千葉市のデータでは2020年に千葉市的人口はピークになりその後減り始める。緑区長は緑区の合計特殊出生率が1.50であり東京50km圏内で3位と発表された。ただ人口減少は避けられないので地区連協でもこのような話題は出している。

(大槻委員) 地域運営委員会では誉田の5団体が参加し色々協議している。子どもの取組を学校支援本部が誉田小学校に出来て教育委員会を中心になって進めている。この会議の場では地区部会だけの話題だけではないと思う。また誉田内の町内自治会連絡協議会で見守りを話し合うにはまだ早いという判断が出た。少しづつ話し合っていきたい。

議題（4）今年度の協議会開催日程について

今年度の協議会開催日程について事務局から説明をした。

主な発言内容は以下のとおり。

(事務局) 次回以降の開催日程について未定なので開催月だけ連絡したい。9月、12月、3月に実施したい。委員長と内容と日程を検討しました連絡したい。

(岡本委員長) 開催曜日は土曜日か平日のどちらかいいか皆に聞いてみたい。土曜日が良い方は挙手をお願いしたい。挙手した方が大多数なので今後も土曜日に開催したい。9月、12月の進め方は事務局と協議し進めたい。

推進協ミニ講座

第1回 消費生活センターの役割と最近の主な悪質商法について

講師：千葉市消費生活センター

主な発言内容は以下のとおり。

- (廣田委員) 昨日、ファイル共有ソフトを利用したがパソコンがウイルスに侵されて
いるという架空請求にあった。電話番号のアナウンスもあった。怪しい
と思ったので何もしなかった。一応ウイルス対策ソフトを作動させた。
- (消費生活センター) 確かにそのような詐欺はある。少し前まではマイナンバーを利用した詐
欺があった。架空請求詐欺は色々な手口がある。
- (岡本委員長) 事務局へのお願いだが、昨年度から始めたミニ講座は地区部会や地区連協
や施設がどのように連携していくべきのか考えられる内容のものにして
欲しい。計画推進に関するミニ講座を企画してほしい。

委員長が閉会を宣し、第1回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。